

ライフサポートひなた

症 例 概 要 入居者：90代 女性 要介護2

利用期間：令和7年3月～

既往歴：偶発的低体温症 尿路感染症 認知症 高血圧 高脂血症
肺炎 肺水腫 関節炎 大腸がん (H21.6)★ストマ造設

経過：独居で最近まで身の回りの事が出来なくなっていたのでヘルパー支援を受けて生活していたが、1月にヘルパー訪問時座位の状態で従命が入らず冷たくなっていた。救急要請し総合病院に搬送され低体温症で入院となった。その後、尿路感染症で抗生剤使用し治療した。独居での在宅復帰は難しく、高齢で食事摂取量にムラがあり誤嚥や尿路感染のリスクもあるためご家族が施設入所希望、入所の運びとなる。

内 容

入所直後は発熱されお部屋で食事されるも半量ほど、隔離解除になるも食事量にムラが見られた。その後も居室で過ごされる事が多く、フロアに来られても傾眠がちとなり、あまり活気がみられなかった。

ご本人にお話を聞くと「音楽を聴いたり、洋画を観たりすることが好きです」と聞かれたため、他職種で話し合い、フロアで音楽をかけ自主トレなどの提案をしてみる事とした。

腕は痛みがあるとの事で高く上げられなかったがリハビリにて音楽に合わせてテーブルを拭く自主リハを取り入れるとリズムよく机を拭く姿がみられた。しばらくすると活気も見られるようになり、集団の立ち上がり訓練にも参加されるようになった。個別のリハビリでは外気浴なども盛り込んで気分転換をはかり、他のご利用者様さんや、スタッフとも談笑される姿が見られる。

6月に入るとSTからの許可もあり、食形態もムース粥・ムース菜から、全粥・キザミトロミにUPされる。

6月下旬にボランティア団体のハンドベルが予定されていたのでご本人も楽しみにされており、参加されると、一緒に歌われたり、ハンドベルの音色に合わせて指揮をとられるご様子が見られた。終わった後に感想をお聞きすると「とても良かったです、楽しかった」と笑顔が見られました。積極的にレクなどにも参

加されるようになり、カラオケレクでも楽しそうに歌う姿も見られている。

現在では、食事量が上がり、はば残さず全量召し上がれるようになる。机ふきのリハビリも毎日行っており、充実した施設生活を送られています。

ご本人の趣味に着目し、リハビリやレクに活用。多職種のアプローチとご本人の日々の努力が重なり、活気が戻られ楽しい時間が過ごせた事案を、キラキラ介護賞に推薦いたします。